

証券市場新聞

1 第163号

日経平均株価

2万0666円07銭

▲263円80銭(前日比)

TOPIX

1557.59

▲14.39(前日比)

2019
1/21
月曜日

発行元 株式会社 証券市場新聞社

〒542-0081 大阪市中央区南船場3-7-27 NLC心斎橋ビル6C

TEL 06-6105-1904 FAX 06-7635-7861

marketpress.jp



第3四半期は米中貿易戦争

の影響が表面化する
の減速を主因
に安川電機
(6506)
が通期営業利
益を590億
円から530
億円へと2度
目の下方修正
を行った。た
だ、中国での
不振は想定さ
れていたこと

復期待が持てるなら
算内容が悪くても株
の位置と今後の回
待から発表翌日は高
く推移している。決
算内容が悪くても株
の位置と今後の回
復期待が持てるなら

昨年末から米中貿易戦争と円高がリス
ク材料としてより認
識されてきた。既に
発表されている2月
決算期企業では、中
国・アジアで
の減速を主因
に安川電機
(6506)
が通期営業利
益を590億
円から530
億円へと2度
目の下方修正
を行った。た
だ、中国での
不振は想定さ
れていたこと

日本電産下方修正の影響は？

から発
表翌日
の株価

3月決算期企業の第3四半期決算発表が本格化してくる。第2四半期の発表時と異なり、株式市場は昨年12月にリマンショックを超える暴落を記録、為替も年明け早々に1ドル104円96銭まで円高が進行、企業経営者には不安を高める材料が次々と表面化している。そのような状況下、とくに輸出系企業にとつては下方修正リスクが高まるが、それを既に織り込んでいる企業は、来期以降を見据えて押し目買いのチャンスとなり、銘柄選別がより重要視される。

3月期企業3Q決算発表本格化

来期を見据え押し目買い

発表後に上昇すること
も想定されよう。

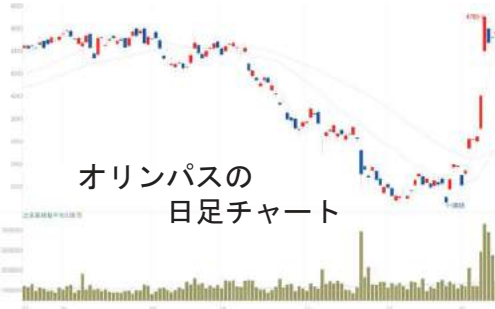
3月期決算企業で
は23日に発表を予
定している日本電産
(6594)が17
日大引け後に19年
3月期の通期予想の
下方修正を行った。

米中貿易摩擦の影響

から想定以上に客先の需要が減少しており、他の輸出系への業績下ブレ懸念も拡がりそう。ただ、日本電産は購入品コストの更なる低減など改善策も同時に発表しており、ネガティブ決算を発表する企業の中でも、売り一巡後は今後の戦略次第で選別物色される可能性が高い。内需系やキラリと光る好業績の中小型株が、個別で物色されそう

日経平均日足チャート





オリンパスはS高

企業変革プラン続いて材料視

週明け15日、オリンパス(7733)が33%が騰騰、ストップ高まで買われた。引き続き1日に発表された企業変革プラン「Transform for Olympus」の策定をポジティブ視した買いを集めた。グローバルメドテックカンパニーへの飛躍を目指して、医療事業を内視鏡と治療機の2事業部門に再編成。筆頭株主のValeantから役員を受け入れ、協関係を受入れる方針で、笹宏行竹氏に代わり竹内康雄氏が代表取締役役に就任する。

今週の動意銘柄

ベイカレント出尽くし

15日、ベイカレント・コンサルティング(6532)が急伸、一時ストップ高まで買われた。19年2月期の単独業績予想を下方修正、営業利益を48億円

から40億円(前期比3・6%減)に引き下げたが、悪材料出尽くし感から買いが優勢になった。併せて発表した発行済み株式数の1・73%にあたる26万5000株上限の自社株買いに反応した。

古野電76%増益も売り

16日、古野電気(6814)が大幅反落。19年2月期第3

少している。

イオンファン月次好調

16日、イオンファンタジー(4343)が大幅続伸。12月の月次売上高を

り、34・0%増と
なっている。

SKジャパンがS安

16日、エスケイジャパン(7608)がストップ安。19年2月期の連結業績

は597億2900万円(前年同期比1・4%増)、営業利益は38億7600万円(同76・6%増)、純利益は33億2900万円(同2・1倍)と大幅な増益だった。が目先のな売りに押されている。商船市場向けが欧州、アジアで増加しているが、漁業市場向けが国内で減

存店で同3・7%増となったことが好感された。人気YouTubeの「コロボ景品の展開や数量拡大が奏功、ネットクレイゲーム」「モリーオンライン」は、11月末にクレイロン機を増台した効果も

修正したが、前日の上昇から利益確定売りに押された。「星のカービィ」など定番キャラクターが好調に推移していることや自社オリジナルキ

正直いいさんの株で大判小判

18日の東京市場は反発しました。米政府が中国に対する追加関税の撤廃や軽減を検討しているとの報道を受け、米中貿易摩擦の緩和期待から前日の米国株式が上昇、為替が円安に振れ、上海株高もフォロ予想を大幅に下方修正した日本電産の影響も50日線を超えるのに対し25日線が0日線目指す0円突破が過度に上値を追い買いに徹したいETFのTOPIX型シフト観測かから、中小型株がきは継続しそうと(4397)やアルテリア(4423)など、直近IPOや昨年11月から12月に高値を付けた中小型株で強い銘柄を狙う戦略です。 花咲翁

中小型で強い銘柄狙う

とこです。PIX型シフト観測か賑わっており、この動です。チームスピリッ



チエンジ出資先上場へ

17日、チエンジ(3962)が

規上場を承認されたと発表されたこと期待された。上場日は2月22日の予定。ベンチャー企業へのIPOに向けた投資・育成事業を手掛けており、識学は2社目の上場となる。

ホギメデイが急反発

3直近3カ月増益で回復期待

17日、ホギメデイカル(3593)が急反発。19年3月期第3四半期累計の連結決算は、営業利益39億2400万円(前年同期比7.5%減)で着地したが、直近3カ月の10(12)月期は14億8500万円(同比5.0%増)と増益に転じたことで、今後の収益回復を期待

した買いが向かった。プレミアムキットのソリニューション提供で収益力を強化、シナガポール子会社も営業活動を開始した。

千代化は大幅続落

17日、千代田化工建設(6366)が大幅続落。「総額1000億円規模の金

今週の動意銘柄

日電産は減額

週末18日、日電産(6594)が反落。17日の取引終了後、19年3月期の連結業績予想について売上高を1兆6000億円か

融支援を要請していることが分かった」と伝わったことがネガティブ視された。第三者割当増資による資金の出し手を募

っているが、多くが支援に慎重という。2Qに1086億円の最終赤字を計上、財務立て直しが緊急の課題になっている。

自律反発の域は出ない

先週の東京株式市場は続伸となりました。NYダウが17日まで10日連続の陽線形成となり、リスクオンムードの台頭から幅広くリバウンドが継続していきました。しかし、17日の東京市場の売買代金が昨年9月以来の2兆円割れとなるなど、値は戻すも活況には程遠く、あくまでも12月の急落に対する自律反発の域は出ません。

今週末からいよいよ第3四半期の決算発表が本格化していきます。17日には日本電産が業績下方修正を発表しましたが、永守会長の会見では「昨年11月、12月はかつて経験したことのない落ち込み」と述べられていました。

不透明要因が多く、外需系銘柄には注意が必要であり、このリバウンドを利用してできるだけ換金売りしておいたほうが良さそうです。

日々勇太郎



転ばぬ先のテクニカル

廣済堂はMBO

18日、廣済堂(7868)がストップ高。MBOの実施と応募の推奨を発表した。TOB価格が前日終値を46%上回る610円とあって、買いが殺到した。買い付け期間は1月18日から3月1日まで、TOB成立後は上場廃止となる。

おいしい品質

選べるおいしさQ・B・B ベビーチーズ

Q・B・B

Quality's Best & Beautiful

六甲バター株式会社

<http://www.qbb.co.jp>



相場展望



光世証券

取締役 西川 雅博 氏

不安感が拭えなかった株式市場だが、下値は限定的で春先ぐらいまでは戻りを試す時間帯が続くと見られる。12月以降はトランプ大統領を巡る政治リスクや企業業績減速、そうした状況下でもFRBが金融引き締め姿勢を堅持するリスク要因から長期下落トレンド入りすることが意識され、AIによるシステム売買と相まって短期大幅下落につながった。しかし、トランプ大統領は公約実現にまい進する一方で、マーケットの動きに神経を尖らせている。米中の貿易交渉は追加関税の猶予期間中にとまる方向に向かうと見ている。また、パウエルFRB議長が金融政策を柔軟に運営することに言及しマーケットに配慮する姿勢を示した。米国株価にはプラスに働く一方で、ドル安円高の流れが強まるとの懸念もあったが、今のところ影響は限定的だ。

17日に発表された日本電産の下方修正は、事前予想に対してサプライズを伴う悪い内容であった。ただ、翌18日の株価は安寄りしたものの下方硬直性を示す値動きとなり、懸念された全体相場への影響もなかった。先週発表の安川電機もコンセンサス比マイナスにも関わらず、株価は5日間で10%以上上昇している。米中貿易戦争によるグローバル景況感と企業業績悪化は昨年来の株

価下落で相当織り込まれたと見るべきだ。PB R1倍以下でPER12倍水準だからことさら弱気になる必要もない。当面は下値固めから自律反発の時間帯になると考える。戻りのメドは日経平均で下げ幅の半値戻しの2万1700円

水準。昨年後半大きく売られた半導体・設備投資関連の景気敏感株の反発と3月の高配当利回りヴァリュ株を狙いたい。

戻り試す時間帯続く

上値メドは2万1700円

2月2日(土) 創刊3周年記念株式セミナー in大阪

主催：(株)証券市場新聞社 申込はTEL06-6105-1904またはinfo@marketpress.jp まで！

2019年2月2日(土) 14:00~16:30 受付・開場13:00 参加料:無料 定員:30名

大化け特選3銘柄を教えます！

数々の株式コンテストで優勝した岡山憲史さんが登壇



岡山憲史氏(株式会社マーケットバンク代表)1999年2月日本初の資産運用コンテスト「第一回S1グランプリ」約1万人の参加者の中から優勝のほか、多くのコンテストで優勝。1カ月間の3銘柄合計パフォーマンス155%と断トツ。週刊現代や週刊ポスト、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行い、個人投資家に投資情報サービスを提供。

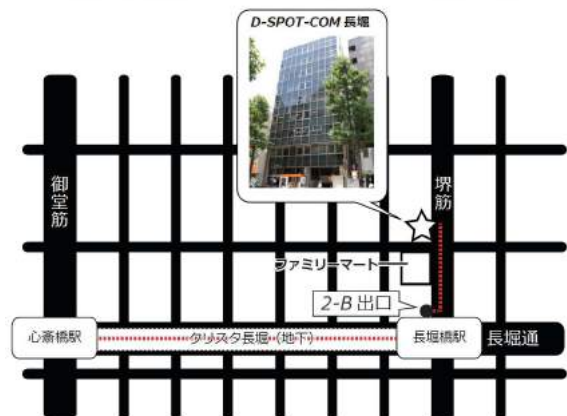
コラム「転ばぬ先のテクニカル」でお馴染み日々勇太郎さんも登壇

田島直人氏 国際テクニカルアナリスト連盟認定テクニカルアナリストで、現在高木証券資産アドバイザー、今年3月に独立系ファイナンシャルアドバイザーとしてIFA(金融商品仲介業者)を立ち上げる予定。

第1部 14:00~14:50 「転ばぬ先のテクニカル」日々勇太郎こと田島直人さんによるテクニカル解説

第2部 15:00~16:30 「乱高下の中で誰にでもできる投資テクニック」岡山 憲史さんによる株式講演会

会場：D-SPOT-COM長堀セミナールーム

大阪市中央区南船場2丁目3-6第一住建長堀橋駅ビル1階
【TEL】06-6105-1904堺筋線・長堀鶴見緑地線長堀橋駅 2-B出口 徒歩1分
御堂筋線心斎橋駅 クリスタ長堀経由 徒歩5分

*セミナー参加者全員にマーケットバンク発行のカレント経済ノート「主要経済指標」2019年版(定価1,000円)をプレゼント!

潮流

弱気が逆転するとき

米中貿易戦争とFRB金融政策改善

marKet / bAnk

個人投資家の弱気心理は強い。オプションの持ち高から投資家の強気・弱気を測る「日経平均プット・コール・レシオ」が15日時点で1.76倍と年始から上昇し、「弱気」に傾いている。オプションの「プット」の持ち高を「コール」の持ち高で割るもので、倍率が高まれば「弱気」を示す。

実際に日経平均オプションの動向をみると、2月限のプット(売る権利)では現下の株価水準より大幅に安い権利行使価格1万8500円の建玉は15日時点で1万2916枚と今年に入って最も多くなり、同2万2000円や2万1000円のコール(買う権利)を上回っている。1万8500円の水準での取引を想定する投資家が増えている可能性がある。相場が反発する中でも増加基調にあり、投資家は依然として世界景気の減速や米中貿易戦争、円高を背景とした相場下落リスクを警戒している。ただ、ヘッジファンドの換金売りは昨年未までに一服しており、ここから下げが加速する可能性は低いだらう。

1月第1週(4日のみ)の日経平均先物とTOPIX先物の投資部門別売買動向によると、外国人は5週ぶりに買い越した。日経平均先物と

個人投資家の弱気心理は強い。オプションの持ち高から投資家の強気・弱気を測る「日経平均プット・コール・レシオ」が15日時点で1.76倍と年始から上昇し、「弱気」に傾いている。

TOPIX先物を合算した買越額は1269億円だった。投資家が打診買いに動いている背景の1つには、中国当局が本格的な「株価対策」に乗り出すとの思惑があるようだ。中国人民銀行(中央銀行)が景気下支

えのため、日銀のように株式を買うとの観測報道が相次いでいる。中国経済政策をつかさどる国家発展改革委員会が改めて景気対策を講じる意図を示した。トランプ大統領は14日、中国の知的財産侵害など構造問題を巡る貿易協議について「合意できると思う」と述べ、順調ぶりを改めてアピールした。米国が課した制裁関税で中国経済が悪化しており「中国が交渉したがっている」という。3月1日の期限に向けて譲歩を引き出すことに自信をのぞかせた。

パウエルFRB議長は10日に「我々は辛抱強く、柔軟に事態の進展を見極める状態にある。経済が想定外の動きをしたときにFRBは非常に柔軟に対応できる。FRBが間違えた場合は方針を変える」とも述べた。米中貿易戦争とFRBの金融政策の改善が強気への転換となる。

潮流銘柄はキャリアインデックス(6538)、PSS(7707)、イーソル(4420)。



岡山 憲史氏(株式会
社マーケットバンク代
表取締役)のプロフイ
ール

1999年2月日本初の資産運用コンテスト「第一回S1グランプリ」にて約1万人の参加者の中から優勝。直近では2017年1月に始まった夕刊フジ主催の「株・1グランプリ」において優勝。1カ月間における3銘柄の合計パフォーマンスでは15.5%と断トツの結果。週刊現代、週刊ポスト、夕刊フジ、ネットマネー、月刊カレントなど幅広く執筆活動を行う。現在、個人投資家に投資情報サービスを行う。http://marketbank.jp

外国人5週ぶり買い越し

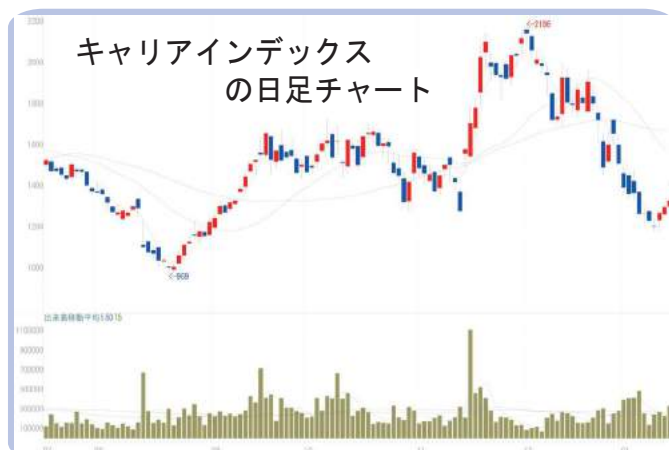


チャート から読む 騰落銘柄

京阪神ビル(8818)



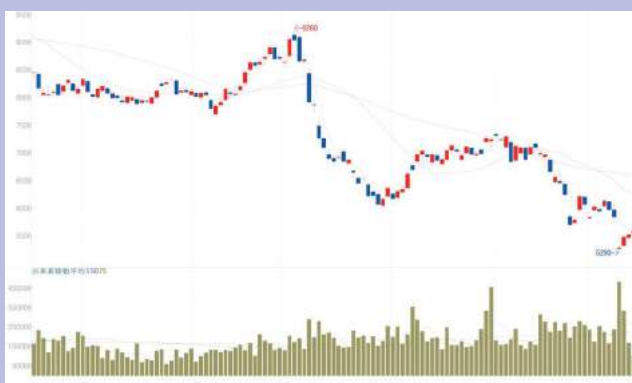
昨年12月25日安値774円を底に年明けには一気に25日線と50日線を上抜く。昨年11月29日の920円を抜ければ、7月30日の高値948円奪回から1000円乗せに期待が高まる。

チェンジ(3962)



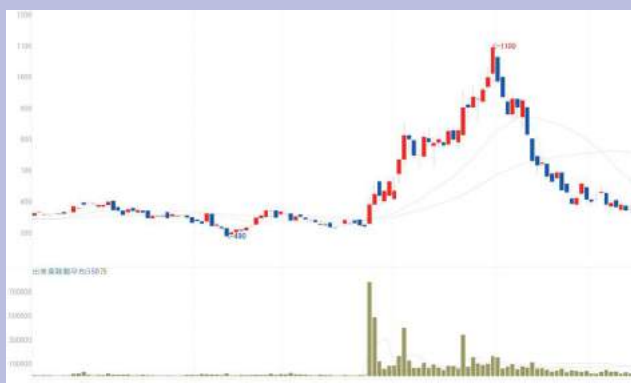
大勢上昇トレンドのなか、25日移動平均割れから切り返し、株式分割を考慮した実質最高値4140円を更新。再び鋭角的な右肩上がりに転じた5日線を下値支持に、株価噴き上げ局面に近い。

久光製薬(4530)



昨年12月上旬以来下げ基調が続き、1月15日には5200円の昨年来安値を更新。この水準を維持できなければ17年8月24日の4985円が意識される。消炎鎮痛貼付剤モーラス群の伸び悩みが懸念。

ワタベ(4696)



11月30日につけた昨年来高値1100円を天井に下値模索が続く。日足陰転のあとも5日線に上値を抑えられ水準を切り下げ、12カ月、24カ月の長期線も割り込む。底割れ状態で一段安を警戒。

※チャートは日足

今週の

活躍期待銘柄



ビジョン(9416)

18年12月期は上方修正濃厚

ビジョン(9416)の株
価は昨年12月25日の安値
3270円を底に1月9日に
は4345円まで上昇、その
後は目先の利食い売りで4
000円前後まで調整してい
るが、押し目買いで対処した
い。

Webマーケティング支援
とWiFiルーターレンタル
を2本柱に事業を展開。グ
ローバルWiFi「NINJA
A WiFi」は高水準の訪
日外国人からのニーズが高く、
集計中の18年12月期は第
3四半期累計(1~9月)
の連結営業利益で21億
3600万円(前年同期
比38.8%増)を計上、
進捗状況から通
期予想の22億
5200万円
(前期比25.
9%増)は上方
修正に進むこと
になりそうだ。
法人向けはク
ラウドWiFi
「グローバルW
iFi for
Biz」の拡大
加速が期待され
る。(と)

グローバルWiFiで高成長



SKジャパン(7608)

3度の増額も大幅上振れ余地

エスケイジャパン(760
8)の押し目は買い。
アミューズメント施設やフ
アンシーグッズ専門店、量販
店向けキャラクターグッズ企
画・製造・販売会社で、「星の
カービィ」など定番キャラク
ターが絶好調で、自社オリジ
ナルキャラクターの「忠犬も
ちしば」の増販も進展。19
年2月期の連結業績予想は3
度目の上方修正で、売上高を
期初計画の52億7000万
円から67億円(前期比24.
4%増)、営業利益を2億円か
ら7億円(同2.1倍)
まで引き上げた。前期に
続いたの最高業績更新と
なるが、第3四半期は営
業利益6億77
00万円を着地、
通期計画に対す
る進捗率は96.
7%におよび、
なお大幅な上振
れ余地を残す。
現予想PER
は11倍台と割
安で、11月に
付けた昨年来高
値1035円奪
回から一段高へ
進みそうだ。(さ)

連続最高業績でPER11倍台

※チャートは日足

新興株や材料系を物色

高野恭壽の株式情報 これでどや!!

株式市場新聞の名物コーナーが復活!



高野恭壽(たかのやすひさ)氏 1949年生まれ、大阪府出身。株式市場新聞大阪支社長、株式新聞社大阪本社代表を経て株式評論家として独立。講演会のほか、ラジオ大阪「タカさんの新鮮・株情報」をはじめTV、ラジオに多数出演。「株式投資30カ条」など著書も執筆。

1月第3週は膠着感の強い展開になりました。日経平均は特に売られる材料がないため、下値は限定的なもので、手かがり材料難でもあり、出来高が細り全体的には様子見の動きであり、出来高も20億株に達しない状況になっています。この欄を執筆している17日の東京市場は野村HDなどの証券株、不動産、電力、紙・パルプ、などが反発して日経平均の大幅下落を阻止してしまいました。一方、全体が弱い動きになる

と半導体系銘柄の下落幅が大きくなる傾向

アンジェスは近々決着

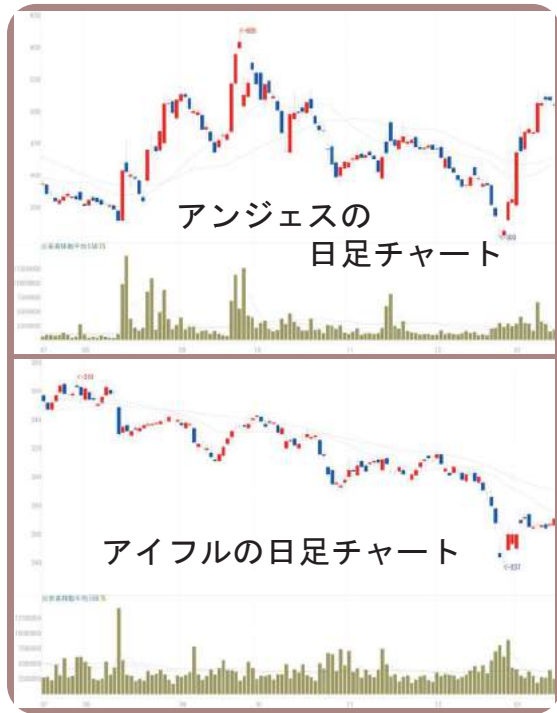
向が強く、東京エレやスクリーン、ディスプレイなどが大きく反落、大引け後には日本電産が19年3月期の通期予想を下方修正しました。

そうした中では新興株や材料系の動きが活発化し、マザーズ市場では10%を超える上昇銘柄が18銘柄もでてにぎやかな展開になっていきます。主力どころは英国のEU離脱問題がすつきりしないことや米国の予算問題などの行方を確かめてみたいというムードが強く動きづらいう状況です。輸出系の業績不安が高まるなかでは、週明けも引き続き新興株や材料系の中から業績の良いものやの個別物色が続くことになりそうです。

アンジェス(4563)は500円台まで戻したところ、小動きに終わりました。ここで小動きになってるのは、遺伝治療薬の認可前に大きく株価が上がるというインサイダーの疑いを掛けられかねないために手控えられているとみられています。また、承認が遅れることもありえますので、承認までは積極的に手を出せないという見方もあります。いずれにせよ近々にも決着がつくことになりそうです。

今回の狙いはアイフル(8515)、アコム(8572)、日本冶金工業(5480)です。前回紹介の南海電気鉄道(9044)がいい展開になり始めていますので引き続き注目です。

材料系ではラウンドワン(4680)が穴株です。



高野恭壽公式ホームページ
高野恭壽の株式市場情報
これでどや!!
<https://marketpress.jp/kabu-takano/>
毎日情報を配信中!

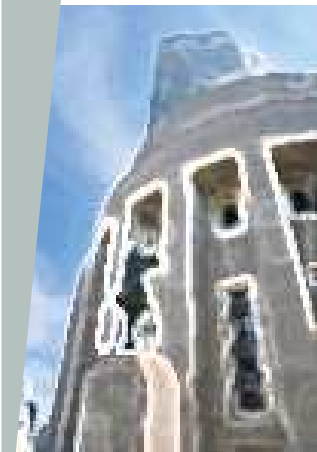
星野三太郎の 株街往来

～限度を超えた人材難～

第3

四半期発表が始まった。どの企業も第2四半期のときに比べて冴えない印象を持っていて、特に小売りでは人件費が重くのしかかっている。その代表例が吉野家HDで原材料の高騰も加わり、第3四半期としては5年ぶりの赤字決算となった。同業では券売機を導入しているところもあるから、コスト改善は可能かもしれないが、人材獲得競争は業態を超えて激化している。

パート・アルバイトの確保では一般消費者の立場から見ても過酷と思えるのがコンビニ。筆者が普段利用する大阪市内の駅前では、同じ看板で3件の店舗が乱立。最初に開店した店舗は時給が900円台だったが、3番目に開店した店舗は張り紙を見ると1200円だった。たぶん、最初に開店した店舗は個人のオーナーで、高時給にするほど体力はないが、改札横の店舗は電鉄経営。駅に広告をだすなどの大胆な販促が可能だから、多少高時給でも人材を確保できれば、集客増で安定経営が可能ということだろう。ただ、同じ看板で人材を取り合っているのは滑稽。人材不足も限度を超えれば経済全般が衰退することになる。



ユニバーサル・クールジャパン 2019

森崎ウィンさんが世界に向け開幕宣言！

企業レター

USJ

「2019」オープニングに先駆け、

ユニバーサル・スタジオ・ジャパンは、1月18日から「ユニバーサル・クールジャパン」のオープニング・セレモニーを開催した。オープニング・セレモニーには、世界中を熱狂させる日本の「クール」なエンターテインメント・ブランドのアトラクションを体感しよう、国内だけでなく世界23の国と地域からメディアやファン約400名が集結。



さらに昨年、鮮烈なハリウッドデビューで話題を攫った俳優・ミュージシャンの森崎ウィンさんが、凛々しい羽織袴姿で駆けつけた。待望の「ユニバーサル・クールジャパン 2019」の開幕に、会場が総立ちとなり、期待と興奮で盛り上がり、サプライズで登場した森崎さんは大歓声で迎えられた。「名探偵コナン」、「ルパン三世」、「進撃の巨人」、「ゴジラ」、「エヴァンゲリオン」、「美少女戦士セーラームーン」の6大作品の巨大ビジュアルが設置された会場に、各作品のテーマ音楽が響きわたり、ファンの熱気が最高潮に達するなか、日本のみならずアジア、そしてハリウッドとグローバルに活躍する森崎さんが、「世界が羨む、日本を楽しめ!ユニバーサル・クールジャパン、スタート!」と開幕を宣言。会場は紙吹雪に包まれ、国内外のファンが一体となって拍手と大歓声で熱狂的に開幕を祝った。

敏腕先物トレーラー

ハチロクの裏話

体の変動率が一定になるように調整してリスク管理を行っているが、この

戻り一服の揉み合い

自動売買主流による弊害

最近、「無
人市場」とい
う題で日経新
聞が連載をし
ている。それ
によると、2
017年で機
械的に自動売
買される世界
の運用資金は
1兆7000億
(約1800
兆円)で運用
総額の約21
%を占めている
ようだ。
自動売買はその後も増加の一途を辿っていると見られ、現在では2000兆円を超えているだろう。最大の無人市場の投資主体は現在のところ指数に連動するETFやインデックスファンドであるが、相場の方向性を決めるAIファンドやその相場の動きを増幅させるトレンドフォロー型のオプションやETFやインデックスファンドが急増している。世界の最大のトレンドフォロー型を運用しているポートフォリオは基本はボルトフォリオが基本はポートフォリオが基本は

の行動が相場を増幅させる要因となっている。逆張り的な動きをするファンドが減った中、これらの自動売買が主流になれば「上昇するときも下落するときも行き過ぎる」と考えたほうが良さそうである。
それ以外は一定範囲以内のボックス相場になると思われる。どうやら超短期で順張りして売買を繰り返すのが運用成績をあげるコツかもしれない。相場の方は英国のEU離脱に関する議決が大方の予想通りの否決となり、相場には影響がなかった。もつとも、これで終わりでないが、今後も相場の形成は戻り相場の目処は2万8000円から2万9000円。このラインは週足の転換線やボリンジャーバンドの2σ、そして12月3日からの下落の半値戻し水準であり一旦は揉み合うところと思われる。その上は節目の2万1000円、下落トレンドの0円処と上限2万1500円処との



今週のスケジュール

- 18日 米12月鉱工業生産・設備稼働率 (23:15)
- 21日 中国12月小売売上高、中国12月鉱工業生産、中国12月都市部固定資産投資、中国10-12月期GDP (11:00)
- 22日 日銀金融政策決定会合(～22日) 12月首都圏新規マンション発売 (13:00) 独1月ZEW景況感指数 (19:00) 米12月中古住宅販売件数 (23日 0:00)
- 23日 黒田日銀総裁会見 日銀「経済・物価情勢の展望」 (展望レポート) 12月貿易統計 (8:50) 11月全産業活動指数 (13:30)
- 24日 ECB定例理事会 (ドラギ総裁会見)
- 25日 独1月Ifo景況感指数 (18:00) 米12月新築住宅販売件数 (26日 0:00)

なろう。一方、下値は転換線の2万0300円処、下値切り上げの上昇ラインの2万0500円処があげられよう。今週は戻り一服の揉み合い相場を想定する。(ハチロク)

編集後記

阪神・淡路大震災から4年が経った。ただ、都市直下型地震の猛威は凄まじく、朝のニュースで見た神戸の風景に愕然とした。高速道路が横倒しになり、多くの家屋が倒壊、街のいたるところで火災による煙があがっている。すぐに知り合いの安否を確かめたが大げなをした人は少なく、亡くなった方もいた。震災は甚大な被害をもたらす一方、ボランティアなど助け合いの精神を具現化した。それでも地震、水害を含め大規模災害は後を絶たず、より災害に強いインフラ整備が必要だと思ふ。

【ご注意】証券市場新聞は投資の参考になる情報提供を目的としており、投資の勧誘をするものではありません。記事には業績や株価、出来事について今後の見通しを記述したものが含まれていますが、それらはあくまで予想であり、内容の正確性、信頼性、予測的的確性を保障するものではありません。当紙が掲載している情報に基づく投資で被らねたいかなる損害について、当社と情報提供者は一切の責任を負いません。投資についての決定はすべてご自身の判断、責任でお願いいたします。